

経営比較分析表（平成30年度決算）

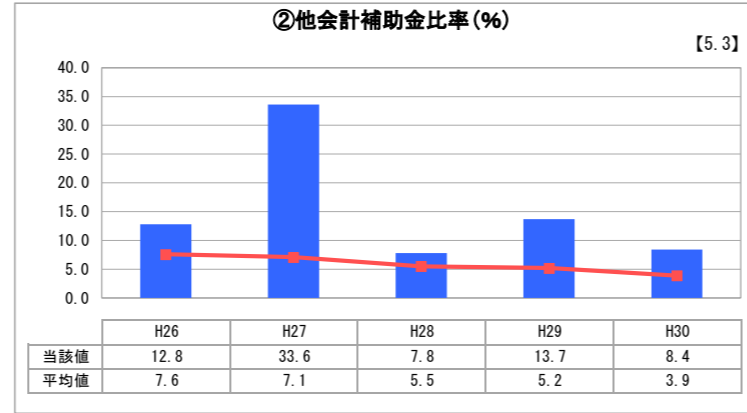
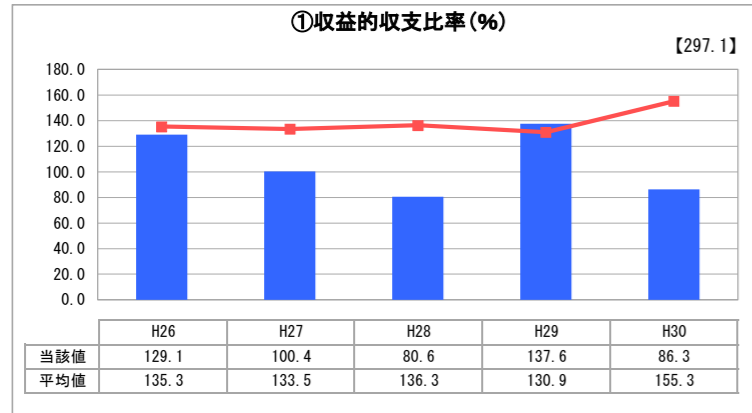
兵庫県神戸市 三宮駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 2	非設置
自己資本構成比率 (%)	種類	構造	建設後の経過年数 (年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	51	

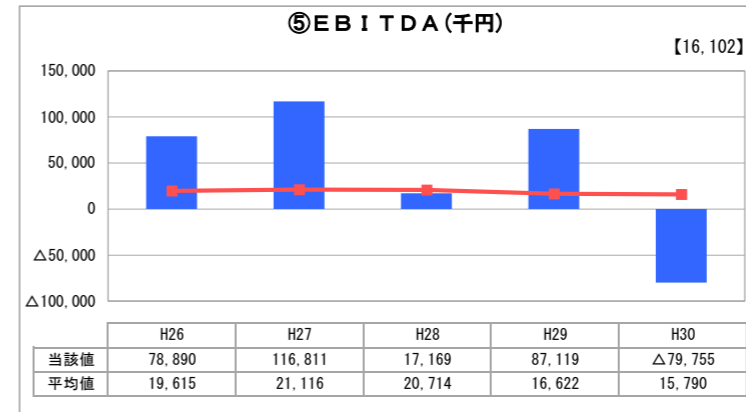
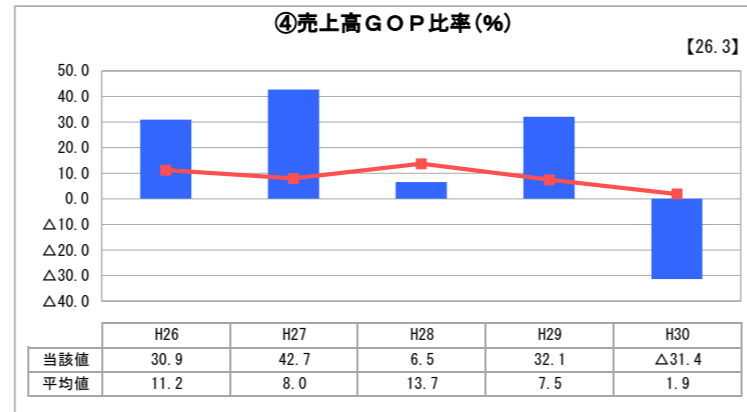
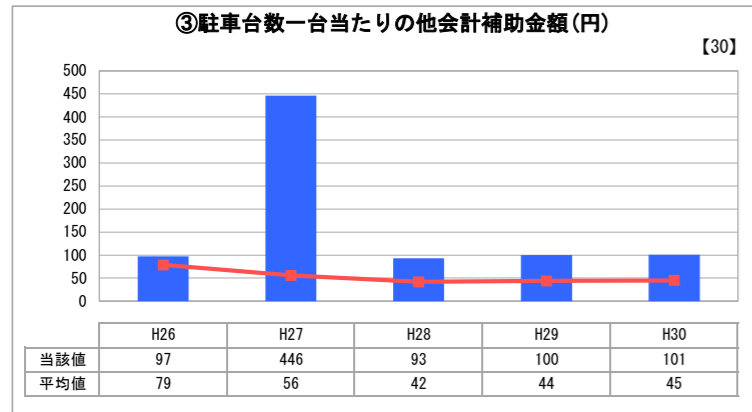
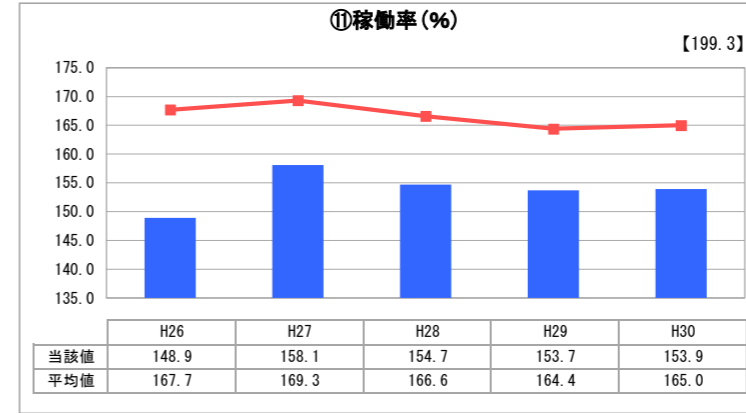
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積 (㎡)
公共施設	無	25,110
収容台数 (台)	一時間当たりの基本料金 (円)	指定管理者制度の導入
534	400	代行制

グラフ凡例	
■	当該施設値 (当該値)
—	類似施設平均値 (平均値)
【	平成30年度全国平均

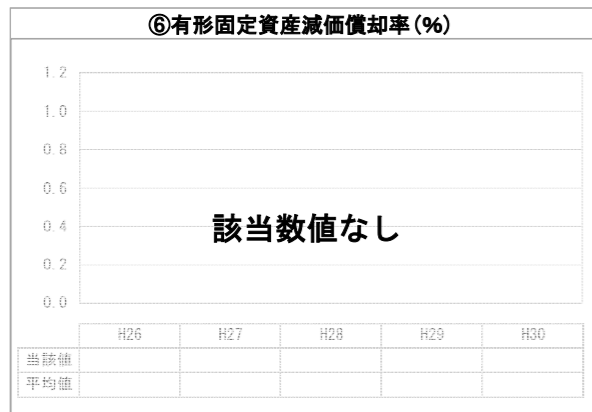
1. 収益等の状況



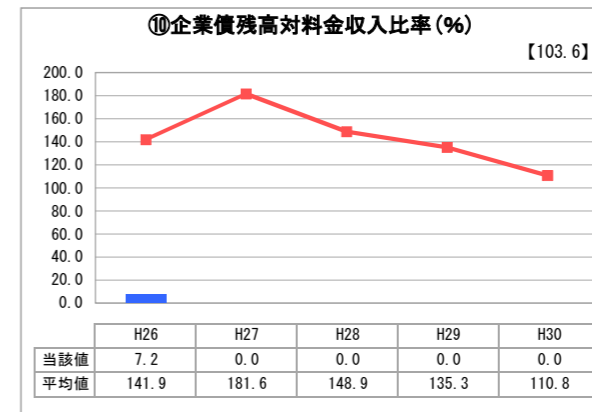
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑦敷地の地価 (千円)	0
⑧設備投資見込額 (千円)	647,840



分析欄

1. 収益等の状況について
 ①収益的収支比率について、平成30年度は大規模修繕費の増加の影響で100%を下回り、赤字に転じている。④売上高GOP比率、⑤EBITDAは減少傾向であり、平成30年度は類似施設の平均を下回っている。②他会計補助金比率は、類似施設の平均より高い。

2. 資産等の状況について
 駐車場の規模が大きいこと、供用開始から50年以上経過することから、⑧設備投資見込額は高いが、設備投資見込額の建設費(約60億円)に対する割合では、市営の他の駐車場と比較して平均的である。また、⑩企業債残高対料金収入比率は、平成27年度より0となっており、引き続き必要な設備更新に対する投資を計画的に行っていく。

3. 利用の状況について
 ①稼働率について、経年比較では横ばいであり、類似施設の平均と比較して低い状態である。周辺施設への営業活動等、引き続き指定管理者と連携しながら利用台数の増加を目指していく。

全体総括
 都心部の駐車場であり、市営駐車場事業全体に与える影響は大きい。都心三宮再整備に伴う周辺土地利用環境の変化も踏まえ、新たな取り組みとしてカーシェアリング事業を開始するなど、引き続き、指定管理者と連携しながら、収益の増加及び安定化を目指していく。